

# 稲葉市長の「第3次行財政改革大綱(素案)(2010年度～2015年度の計画)」概要

2010年3月6日(土)  
日本共産党・板倉真也

——— 市民生活に密接なものを、下記に紹介します。

		(金額は財源捻出額、%は全体に占める割合) △は、市の持ち出しになるもの
人材・組織改革	1億169万円(33.84%)	
財政・財務改革	4,688万円(15.60%)	
集会所(4館)の有料化の検討(2014年度実施)		689万円
「利用者の実態や利用状況を考慮し、受益者負担の適正化を図るため、上之原会館・西之台会館・上水会館・婦人会館を有料化する」		
保育料の改定(2014年度実施)		2,900万円
「受益者負担の適正化を考慮し、国基準徴収額の50%を目途に改定する」		
特定健診、後期高齢者医療健診の見直し(2013年度実施)		(金額未定)
「一部負担金(受益者負担金)を徴収する」		
生活機能検査の見直し(2013年度実施)		(金額未定)
「一部負担金(受益者負担金)を徴収する」		
独自健康診査、がん検診の見直し(2013年度実施)		(金額未定)
「一部負担金(受益者負担金)を徴収する」		
公民館の有料化(2014年度実施)		(金額未定)
「受益者負担の適正化を図るため、公民館使用の有料化を行なう」		
行政サービス改革	1億5,195万円(50.56%)	
指定管理者制度の更なる活用(2014年度実施)		920万円
「住民サービスの向上と業務の効率化を図るため、公の施設に民間の能力を活用する指定管理者制度の更なる活用を行なう」(施設を特定しているものではない)		
ごみ収集業務の見直し(2010年度・2011年度実施)		△2,540万円
「ごみ収集業務の見直しを行ない、民間委託する」		
高齢福祉業務の見直し(2011年度実施)		395万円
「高齢者福祉(ひと声訪問業務、老人福祉電話事業、高齢者緊急通報システム事業、友愛活動事業等)を公共的団体等に委託する」		
ピノキオ幼稚園業務の見直し(2013年度実施)		1,000万円
「市民サービスの充実を図るため、民間委託や公共的団体等を活用する」		
保育業務の見直し(2013年度実施)		1億937万円
「市民サービスの充実を図るため、順次民間委託や公共的団体等に委託する」(詳細不明)		
学童保育業務の見直し(2010年度から随時実施)		543万円
「市民サービスの充実を図るため、順次民間委託や公共的団体等に委託する」(詳細不明)		
児童館業務の見直し(2010年度から随時実施)		393万円
「市民サービスの充実を図るため、順次民間委託や公共的団体等に委託する」(詳細不明)		
小学校給食業務の見直し(2011年度・2013年度実施)		1,477万円
「市民サービスの充実を図るため、順次民間委託や公共的団体等に委託することを視野に入れ、新しい経営方法を取り入れる」(3校～4校)		
図書館業務の見直し(2010年度・2011年度実施)		△397万円
「民間委託等の民間活力を活用する」(すべての図書館・図書室)		
公民館業務の見直し(2014年度実施)		3,391万円
「公民館業務を一部委託化し、公民館本館のセンター化を行なう」(詳細不明)		
<b>財政効果</b>	<b>3億52万円</b>	(委託化・有料化・値上げ・職員72人削減)

【解説】小金井市は「財政が厳しい」を理由に、2010年度から2015年度までの6年間の「第3次行財政改革大綱(素案)」を発表しました。小金井市は今回の「行革」を『市民協働』『公民連携』と称していますが、関係者の理解も得ずに図書館や学童保育の民間委託化を打ち出しています。しかも市民負担の有料化・値上げまで『市民協働』だと言うのです。この6年間の「行革」で生み出す財源は3億円。2010年度の駅前開発につぎ込む市負担額・40億円は、この13倍にもなります。

## 新焼却施設建設スケジュール(予定)

1	2006年10月31日	市議会全員協議会に新焼却施設建設に係るスケジュール(案)を提示
2	2006年11月	国分寺市に新焼却施設建設に係るスケジュール(案)を提示
3	2006年11月	市役所内に関係職員による(仮称)焼却施設問題等検討委員会を設置
4	2007年2月	(仮称)焼却施設問題等検討委員会から市長に対して、新焼却施設の建設候補地(案)について報告
5	2007年2月	市議会全員協議会に新焼却施設の建設候補地(案)を提示
6	2007年2月	国分寺市に新焼却施設の建設候補地(案)を提示
7	2007年2月	2007年6月に設置する予定の市民参加による(仮称)新焼却施設建設場所選定等市民検討委員会に提示する新焼却施設の建設候補地を決定
8	2007年2月	2007年度以降の広域支援等について国分寺市と覚書を締結
9	2007年2～3月	新焼却施設の建設候補地について市民説明会
10	2007年2～5月	国分寺市と共同で新焼却施設建設計画に係る考え方を取りまとめ
11	2007年5月	市議会全員協議会に新焼却施設建設計画に係る考え方を提示
12	2007年6月	市民参加による(仮称)新焼却施設建設場所選定等市民検討委員会を設置。新焼却施設建設計画に係る考え方および新焼却施設の建設候補地を提示し、新焼却施設の建設場所について諮問
13	2008年8月	(仮称)新焼却施設建設場所選定等市民検討委員会から新焼却施設の建設場所について答申
14	2008年8月	市議会全員協議会に新焼却施設の建設場所についての答申について報告
15	2008年9月～2009年1月	新焼却施設の建設場所についての答申について市民説明会
16	2009年1月	市議会全員協議会に新焼却施設の建設場所(案)を提示
17	2009年2月	国分寺市に新焼却施設の建設場所(案)を提示
18	2009年2月	新焼却施設の建設場所を決定
19	2009年4月	市民参加による(仮称)新焼却施設建設問題等市民検討委員会を設置し、新焼却施設建設基本計画の策定について諮問
20	2009年7月～2010年1月	専門家による(仮称)新焼却施設に係る処理方式選定委員会を設置し、新焼却施設の処理方式を選定
21	2010年3月	(仮称)新焼却施設建設問題等市民検討委員会から新焼却施設建設基本計画について答申
22	2010年4月	市議会全員協議会に新焼却施設建設基本計画についての答申について報告
23	2010年4月	新焼却施設建設基本計画を策定
24	2010年4～6月	新焼却施設建設基本計画について市民説明会
25	2010年8月～2011年1月	循環型社会形成推進地域計画を策定
26	2011年2～8月	新焼却施設基本設計
27	2011年9月～2013年9月	小金井市、調布市、府中市の各市で都市計画決定。境影響評価(環境アセスメント)実施
28	2013年9月～2014年3月	新焼却施設実施設計
29	2014年4月	新焼却施設着工
30	2017年3月	新焼却施設竣工
31	2017年4月	新焼却施設稼働

19番以降は、小金井市と国分寺市が共同で実施。

【解説】稲葉市長は2006年10月31日の市議会全員協議会に、国分寺市と共同使用を予定するゴミ焼却場の建設スケジュール(案)を発表しました。「2009年2月」に「新焼却施設の建設場所を決定」の予定でしたが「決定」できず、「2009年度中に建設場所の決定」に変更して、国分寺市や昭島市、日野市などに燃やすゴミの処理をお願いしています。その「2009年度中」も今月でおしまい。「どうするのか?」と詰め寄せられた小金井市が述べたのが、「地域住民や調布市・府中市が了解しないもともども、小金井市の意思決定で『二枚橋』を決定する」。つまり「小金井市が『決定』すれば、2009年度中の『決定』になる」というもの。そんな詭弁が世間に通用するのか!。小金井市はこの詭弁で2010年4月からの燃やすゴミの受け入れを他市にお願いすると言います。「二枚橋」に固執しつづけるかぎり、ゴミ処理の先行きは開けてきません。(2010年3月6日)